

2020年度 東京バプテスト神学校

— 夏期公開講座開催のご案内 —

2020年度の夏期公開講座は、旧約聖書学の月本昭男先生（前立教大学文学部教授、現上智大学神学部特任教授）をお招きして創世記を学ぶ予定です。旧約聖書は、ユダヤ民族 2000 年間の知恵の結集であり、旧約聖書の理解なしには新約聖書を理解することも難しい書です。月本先生は旧約聖書学では第一人者とされ、数多くの著作を著されています。

なお、今年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、教室での受講を 40 名までに限定し、通信受講（含むライブ受講・教会共同受講）を併用して開催します。教室での受講生は全員マスク着用をお願いします。

1. 講座開催要領

日時 2020年8月13～14日（木、金）
場所 茗荷谷キリスト教会礼拝堂（〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18）
テーマ 「現代に創世記をどう読むか」
講師 月本昭男先生（上智大学神学部特任教授・立教大学文学部名誉教授）
主要著書 『創世記注解』日本基督教団・宣教委員会「『現代の宣教』のための聖書注解書」
『詩篇の思想と信仰 1～6』新教出版社 2003～2020
『物語としての旧約聖書上・下』NHK 出版 2018（ラジオ講座テキスト）他
参加費 本科生：受講料 12,500 円
聴講生（及び一般の方）：受講料 15,000 円
*通信受講は+5,000円（通信手数料）
参加費特例 当校卒業生、後援会会員、連盟加盟教会牧師、三連合役員の方は受講料 15,000 円が半額になります（7,500 円）。
申込締切 7月31日（金）

2. プログラム

8月13日(木)	9:00～9:30	「開会礼拝」
	9:30～9:45	オリエンテーション
	10:00～12:00	講義Ⅰ「現代に創世記をどう読むか 1～創造物語と原初史」
	12:00～13:00	昼食・休憩
	13:00～15:00	講義Ⅱ「現代に創世記をどう読むか 2～アブラハム物語」
	15:00～15:30	休憩
8月14日(金)	15:30～17:30	講義Ⅲ「現代に創世記をどう読むか 3～イサク・ヤコブ物語」
	10:00～12:00	講義Ⅳ「現代に創世記をどう読むか 4～ヨセフ物語」
	12:00～13:00	昼食・休憩
	13:00～15:00	講義Ⅴ「現代に創世記をどう読むか 5～ヨセフ物語から出エジプト記へ」
	15:00～15:30	休憩
	15:30～17:00	「懇談の時～講師を囲んで」
	17:00～17:30	「閉会礼拝」

3. 講師からのメッセージ

創世記は冒頭に太古の「出来事」を伝える「原初史」（1～11章）とそれに続くイスラエルの父祖たちの物語（12～50章）から構成されています。近代以前には、これらの記述はそのまま歴史的事実と理解されていました。しかし、自然科学が発達し、歴史学や考古学の知見が加わった現代では、原理主義に立つ教会を除き、そうした理解は影を潜めました。加えて、学問としての聖書学の進展にもめざましいものがあります。ならば、現代人、とりわけキリスト教信仰を与えられた私たちは、創世記の記述をどのように読み、どのように理解したらよいのでしょうか。

2020年度 夏期公開講座申込書

東京バプテスト神学校事務局 御中

(TEL: 03-3947-5141 / FAX: 03-3947-5145 / E-mail: seminary@tbts.jp)

神学専攻科・本科・教会教育専攻科・音楽専攻科・音楽本科・信徒リーダー・聴講生
牧師・卒業生・後援会会員・その他（ ）

ふりがな

氏名： _____

<参加形態>

通学 / ビデオ通信 / ライブ通信（在学生のみ） / データ DVD

教会共同受講として参加（ライブ通信 / ビデオ通信）

※○印をお付けください。

※教会に複数人が集まって教会共同受講をすることはできません。その場合、後援会会員であれば半額(7,500円)で受講できます。

全日程 / 部分参加（講義Ⅰ・講義Ⅱ・講義Ⅲ・講義Ⅳ・講義Ⅴ）

※通信受講による部分参加は受付できませんのでご了承ください。

郵便番号： _____

住所： _____

電話番号： _____

所属教会： _____

Eメールアドレス： _____

<通信欄>

（切り取り線）